



発行日：令和5年6月29日

今回は新任の先生のおすすめの本の紹介です。さて、新しいといえば最近「Fever 機動戦士ガンダム SEED」が登場しましたね。ガンダム、知ってます？（図書館にも小説あります！）

なんでもある場面で使われているSEが原作とかなりかけ離れていて、さらに演出も「どうしてこうなった」という感じで原作ファン達からは少し不評で波紋を呼んでいるようです。いや～私も大人になったら挑戦してみたいものです。でも「打てませええん！」ってなる未来は怖いですね。皆さんも賭博は、やるなら大人になってから、節度を持ってやりましょう。図書委員会との約束です。

20代を無難に生きるな
永松 茂久

20代をどのように歩いていけばいいかの示唆を多く得ることができる本です。私自身も20代を無難に生きていることが分かったので、考え方をより良い方向に変えることができました。特に、まだ10代である中高生にとって知見を得た状態で20歳を迎えることが出来るため、とてもオススメです。

加納先生

20代を
無難に
生きるな

永松茂久

100万分の1回のねこ

講談社

この本は皆さんが知っているであろう、「100万回生きた猫」への13人の作家によるトリビュート短編集になっています。猫が主役のお話がたくさん入っているのですが、笑えるお話から感動するお話まで様々なお話が収録されています。中でも広瀬弦さんの「博士と猫」というお話は科学者の猫のお話で、生きるとは何か考えさせてくれます。短編集なので本が苦手な人でも読みやすい本となっています。ぜひ読んでみてください。

飯沼先生



キノの旅

時雨沢 恵一

こんな人にオススメ！

- ・小説などを読み慣れていない方、チャレンジしたい方、
- ・軽い読書をしたい方

いわゆるライトノベルで、主人公が色々な国を巡って旅をする物語です。登場する様々な国はどれも特徴的な文化があり、極端なルールがあるのですが、余所者の旅人である主人公がそこでどう生活し、どう行動を起こし、どんなトラブルが起きるかが読んでいて楽しい作品です。「そうはならんだろ」と思うようなトラブルもあれば、意外と考えさせられるお話しが出てくることもあり、読んでいて飽きがきません。

本作の1番の特徴は、読みやすく工夫がされている点です。出てくる話は短編形式が多いため、長く読み必要がなく、区切りがつけやすいです。また、極力難しい文章表現は避けており、スラスラと読みやすい文体が心掛けてあります。私も中学生のころに読んでいたくらいには古い作品ですが、今読んでも色褪せることはない素晴らしい作品だと思っています。

杉森先生



家族

カジサック

私が大好きな芸人兼 YouTuber の梶原雄太さんまたはカジサックさんが出している本です。人生が辛く精神的な病気になった時のことや家族のことや子育てについて語ってくれている本です。皆さんが読んだ後必ず家族という存在に感謝しようと感じることができます。ぜひ読んでみてください☆

和井田先生

